

令和5年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●令和5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定

自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)
庄原市	①学校運営上の課題	教職員の時間外勤務の是正	勤務時間外の在校時間が45時間以下の市内教職員の割合は、令和4年10月時点で64.7%となっており、教員の業務負担軽減による時間外勤務の縮減が課題となっている。	本市においては、各自治振興区が地域学校協働活動推進員の役割を担っている。ほぼすべての学校において、自治振興区職員が、学校運営協議会委員となっており、学校運営協議会の充実により、地域人材の活用や、学校と地域の連絡調整等を行い、教職員の業務負担軽減を測る。	学校・家庭・地域の役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教職員の業務負担が軽減する。	勤務時間外の在校時間が45時間以下の教職員の割合	65	%	70	63.6	全ての学校で学校運営協議会の充実を目指し、学校・家庭・地域の役割分担を明確にするように機能化を図っている。今後は、一層の学校運営協議会の機能化により地域人材の活用等を進め、教員の業務負担軽減を図る。
	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	新型コロナウイルスの影響により、学校以外で行う多様な体験活動が減少している。	放課後子供教室・地域未来塾実施自治振興区との連携を深め、ワクワク学び隊の活用や資料館・博物館見学など、多様な体験活動を年5回以上行う。	多様な体験活動を通じ、学校以外で学習を行う児童が増える。	体験活動(ワクワク学び隊・博物館・資料館見学)の実施件数	2	件	5	2	目標値を下回る結果となったが、帝釈峡や白雲洞見学、庄原市歴史民俗資料館の見学を通じて、子供たちにとって有意義で多様な体験活動を実施することができた。今後はこの体験活動をより多くの子供たちに参加してもらうよう、周知を行う。